

映像デザイン表現研究

Study of Visual Image Expression

2単位 2年(前期)

石井健二・教授/社会創生学科

【授業目的】多様化した現代の画像表現技術を学ぶと共に、美術館・図書館・官庁等で所有している写真や芸術作品の保存・修復・管理について、その在り方、必要性等についても考察し、表現と保存の両局面から今後考えられる画像文化の在り様を探る。

【授業概要】19世紀中紀から現代に至る写真画像表現について考察し、デジタル画像処理の今後についても検討する。

【キーワード】映像情報、写真画像

【先行科目】『アーツ・アンド・テクノロジー論』(1.0), 『芸術基礎理論演習』(1.0)

【関連科目】『映像メディア表現研究』(0.5)

【履修上の注意】前期開講。受講条件:アーツ・アンド・テクノロジー論を受講することが望ましい。講義はマルチメディア B 棟 1 階 講義・実習室にて行なう。

【到達目標】映像に関する基礎知識を身につける。

【授業計画】

1. 時代背景を追いながら考察を行う
2. 受講者による発表を中心に授業を進める
3. 写真表現の現状と保存・修復・管理について
4. 白黒フィルムによるスタジオ撮影について
5. カラーフィルムによるスタジオ撮影について
6. 白黒フィルムの撮影後の処理について
7. カラーフィルムの撮影後の処理について
8. 白黒・カラーフィルムのプリント処理及び管理方法について
9. サイアノタイプ技法によるワークショップ
10. ピンホールカメラの制作
11. ピンホールカメラによる撮影
12. 映像作品鑑賞
13. ビデオ作品として自己紹介ビデオを作製する。
14. 映像を利用した総合芸術の今後について
15. レポート提出
16. 総括授業

【成績評価】課題と期末レポート及び、授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

【再試験】行わない。

【教科書】講義の中でテーマ毎に紹介する。

【参考書】授業の中で配布する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218373>

【連絡先】

⇒ 石井 (マルチ B-203, 088-656-7165, ishii@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 昼休み)

【備考】

- ◇平成23年度 前期開講。
- ◇平成23年度は、金5・6 講時開講
- ◇講義はマルチメディア B 棟 講義・実習室で行う。